

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

## 安全のための注意事項

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。  
機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項の  
ランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

## ■使用上のご注意

⚠ 危険
本器の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与える恐れがある場所には使用しないでください。
⚠ 注意
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守・点検は専門知識を有する人が定期的に行ってください。</li> <li>・電源・出力端子間の耐電圧試験・絶縁抵抗測定は行わないでください。故障する恐れがあります。</li> <li>・定格電流以上の通電が必要な場合は、リレー等を介して使用してください。</li> <li>・屋内に設置される筐体内以外での使用はお避けください（屋外設置で筐体内が屋内と同等とみなせる場合は除きます）。</li> <li>・次のような場所では使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高温・高湿となる場所</li> <li>・腐食性ガスのある場所</li> <li>・可燃性ガスのある場所</li> <li>・可燃性ガスの漏れる恐れのある場所</li> <li>・極度に塵埃やオイルミストが多い場所</li> <li>・振動、衝撃のある場所</li> <li>・ノイズ、電界、磁界の強い場所</li> <li>・塩分を多く含んだ環境</li> <li>・水滴のかかる場所</li> <li>・導電性粉塵（カーボン繊維・金属粉など）のある場所</li> </ul> </li> </ul>

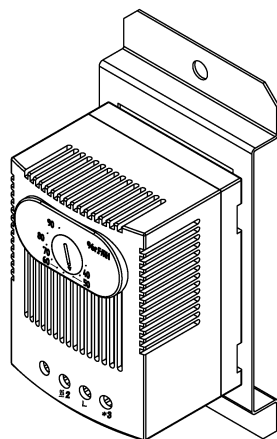
## ■施工上のご注意

⚠ 注意
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気工事（取付・施工）は有資格者が行ってください。</li> <li>・電線接続の際、端子ねじは確実に締付けてください。発熱・火災の恐れがあります。</li> </ul>

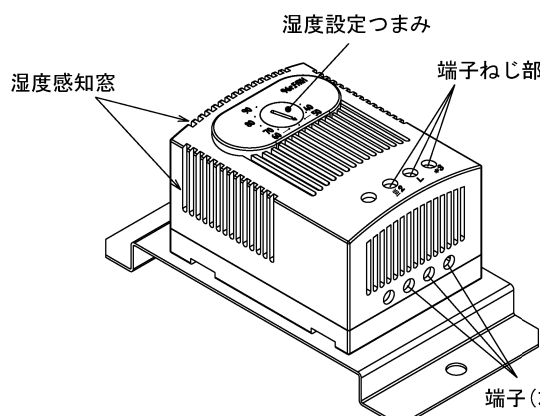
## ■仕様

品名記号	PHV-95CN
湿度設定範囲	35%~95%RH
ON・OFF湿度幅	約4%RH
湿度公差	±15%RH
接点形式	C接点
外形寸法	ヨコ50×タテ67×フカサ40.5mm
製品質量	約100g
電気定格（無電圧接点）	AC250V 50/60Hz 5A（抵抗負荷） AC250V 50/60Hz 0.2A（誘導負荷）

## ■各部名称



外観



付属品：取付金具  
丸タッピンねじ（2種+M5×10）  
取扱説明書

端子（左側：2，中央：L，右側：3）

## ■用途

- 結露防止の用途で使用する盤用ヒータとの組合せにより筐体内の結露防止用調整器
- ブザー、ランプ等の警報装置と組合せた筐体内の異常湿度検知器

## ■動作

可変式湿度センサを用いた回路により、可変式湿度センサ本体の近傍に湿度が設定湿度まで上昇すると盤用ヒータ又は警報装置に通電され、設定湿度より約4%下がると停止します。

## ■取付

1. 取付位置は高湿度な環境に対し保護の必要な機器、装置類の近傍の垂直面に取付てください。  
注) 湿度感知窓の通気妨害にならないように周囲5cm以上の空間を確保してください。
2. 筐体の基板、IEC(DIN) レールに取付可能です。

### ●基板取付方法

- ①ベースに図1のピッチで取付穴を加工してください。
- ②付属タッピンねじにて締付け、固定してください。(図2)

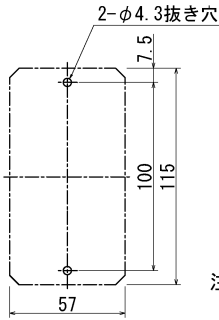


図1

注) 一点鎖線は取付金具外形を示します。

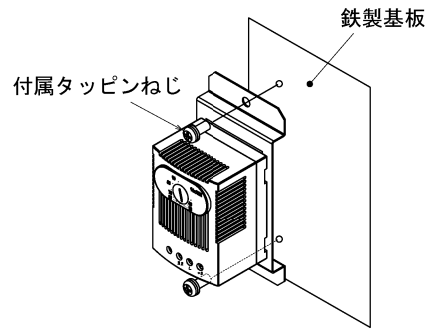


図2

### ●IEC(DIN) レール(巾: 35mm)取付方法

- ①取付金具から湿度センサ本体を取外してください。  
注) 本体を下に押し下げ、下側を手前に引き離し、さらに本体を上押し上げてください。(図3)
- ②IEC(DIN) レールに本体をはめ込んでください。(図4)  
注) 1. 本体を確実に固定する場合は、別売りのストッパーTB-DSをご利用ください。  
2. 縦に設置されたIEC(DIN) レールに取付ける場合は必ずストッパーTB-DSを使用してください。

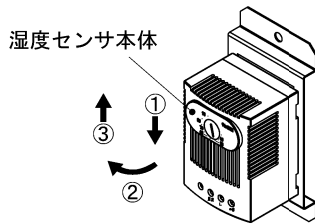


図3

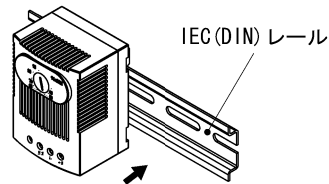
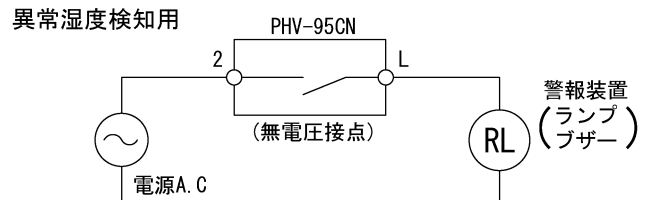
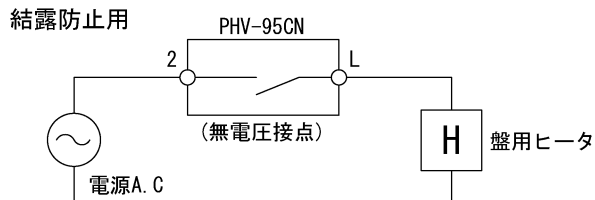


図4

## ■結線

盤用ヒータ又は警報装置等に接続する2本の電源線の内、1本を本器の端子を経由して結線してください。

- △注) 1. 結線方法を間違えすと短絡する恐れがありますので注意してください。  
2. 端子は箱形(ソルダーレス)端子となっています。電源線がより線の場合は棒端子の使用をお勧めします。  
3. 適用電線サイズ 0.5~2.5mm<sup>2</sup>  
4. 端子ねじ部の穴径は約3.8mmとなっています。先端部の直径が3mmのマイナスドライバーをご使用ください。



L-3間を使用すると加湿用となります。

施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がございましたら弊社技術相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2007年3月現在のものです。